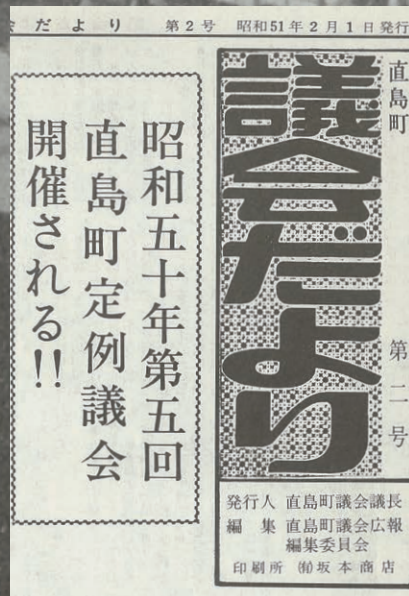


議会だより なおしま

2022 No.200
令和4年7月8日

発行 ● 香川県直島町議会
編集 ● 広報編集特別委員会
電話 ● (087) 892-2297
印刷 ● 山陽印刷(株)



- 初心を忘れず ひらかれた町政を(所信表明)..... 2P
- ドクターヘリ協力体制の継続を(町長報告).... 2・3P
- 町主体の防災訓練の実施を(一般質問)..... 6~9P
- 議会だより200号までのあゆみ..... 10・11P
- 挑戦してみませんか(がんばりよるで つつじ太鼓)..... 12P



小林町長

初心を忘れず ひらかれた町政を

基本姿勢

住んでいる人が明るく、元気にくらせるまちづくり・子どもの声が響くまちづくりを目指し、ひらかれた町政を推進していきます。

3つの柱

①安心できるまちづくり

南海トラフ巨大地震を見据えた津波対策、豪雨災害に備え、避難所については、プライバシーが確保できるよう努めます。道路では通行する際に危険な箇所や水路を改良していきます。新型コロナウイルス感染症については、60歳以上、基礎疾患のある方を対象に4回目の接種を予定しています。

②活力あるまちづくり

移住対策の継続をはかりつつ、町営家族用住宅の整備、宅地造成にも着手します。住宅の整備補助、空き家改修補助など、定住対策にも取り組みます。福祉センターの遊具・積浦公園整備、キッズポートの充実にも取り組みます。水産業、工業、観光業の基幹産業の皆さまと連携を強化していきます。

③共生できるまちづくり

行政のデジタル化では、マイナンバーカードを利用したオンライン手続き、地域のデジタル化では、誰もがわかりやすく、快適に活用できるように進めていきます。SDGs（持続可能な開発目標）の視点を取り入れ、脱炭素化についても検討していきます。高齢者対策では、町民専用バスの路線見直しを行ない、さらなる利便性の向上を目指します。以上、基本姿勢、まちづくりの方向性について申し上げますが、職員とともに汗をかき、新たな町の創造の実現に尽力していきます。町議会の皆さまにもご理解とご協力をお願いし、所信表明といたします。

主な質疑

Q (浜口) 町ができる地域のデジタル化とはどんなことか。



積浦宅地分譲地



横防家族用住宅建設予定地

A (町長) 役場だけでなく全体的に進めなければならぬが、何ができるのか検討中だ。

Q (西岡) 町民の安心安全を図るうえでスピード感が大切だと思いが、予算の増額等は考えていないのか。

A (町長) スピード感をもって対処したいが予算の都合等もあり、なかなか前へ進まない。できる限り進めたい。

Q (宮原) 人口減少歯止めの改善策は社会動態と自然動態のどちらなのか。

A (町長) どちらもプラスが理想だが、自然動態では生まれる子どもより亡くなる人が多いので、人口増はなかなか難しい。ひとりでも増やしたい気持ちだ。

Q (宮原) 令和元年から3年の基礎的財政収支は黒字か赤字か。

A (町長) 元年・2年とも黒字だ。

Q (山上) 町行政機能の強化で、職員

に意識改革を促してきたが、至らない点もみられるとのことだが、どんなことか。また、今後どのように意識改革をやっていくのか。

A (町長) 挨拶ができていないところがあるが、町民の方から役場は良くなったとの声も聞いている。もっと良くしていきたい。

Q (山下) 町の避難所はペットも同伴できるのか。

A (町長) プライバシーも守らないといけない。いろんな方がいるので、どの場所でのようにすれば良いのか検討したい。

Q (町長) 挨拶ができていないところがあるが、町民の方から役場は良くなったとの声も聞いている。もっと良くしていきたい。

Q (山下) 町の避難所はペットも同伴できるのか。

A (町長) プライバシーも守らないといけない。いろんな方がいるので、どの場所でのようにすれば良いのか検討したい。

Q (町長) 挨拶ができていないところがあるが、町民の方から役場は良くなったとの声も聞いている。もっと良くしていきたい。



ペット同伴避難所を

川崎医大にドクターヘリ 協力体制の継続を

(主なもの)

- 3月3日 福武財団理事会がオンライン会議で開催されました。
- 3月18日 瀬戸内国際芸術祭直島町実行委員会が役場会議室で開催されました。
- 3月24日 観光協会理事会が役場会議室で開催されました。
- 4月6日 町と県との意見交換会に西原副知事他が来庁されました。
- 4月16日 瀬戸内国際芸術祭2022春会期オープニングイベントを海の駅にて、つつじ太鼓やグッズ配布等、来島者のお出迎えをいたしました。
- 5月25日 川崎医科大学附属病院を訪問し、ドクターヘリ運航のお礼及び、今後の協力体制継続のお願いを申し上げます。
- 5月27日 火まつり実行委員会が役場会議室で開催されました。

主な質疑

新規のイベントは

Q (西岡) 観光協会
は、ここ数年コロ

ナの影響で赤字だったと思
うが、今年度は瀬戸芸
が開催され、黒字になる
と思う。今後、何かイベ
ント等を企画しているのか。

A (町長) 2、3年
度は赤字だった。

また、観光協会自体がイ
ベントを実施するまでには
至っていない。



香川県ドクターヘリ

ドクターヘリの協力体制は

Q (山上) 川崎医大
にドクターヘリの

協力体制の継続をお願い
しているが、どうなっ
たか。

A (町長) 当町は香
川県であり、県が

ドクターヘリの運航を始
めたら第一に県に要請す
るが、所用がある場合に
は、川崎医大にヘリの要
請をする。

Q (山上) 県のヘリ
は岡山の病院に飛

んでくれるのか。

A (町長) 岡山日赤
等、指定した病院

に飛んでくれると理解し
ている。

協力体制の確認とは

Q (小野) 高松気象
台長が来庁され、

就任の挨拶及び協力体制
の確認を行なっている
が、どんな内容なのか。

A (町長) たとえば
線状降水帯は半日

前には予測でき、大雨情
報や警報などをすみやか

に情報収集しながら対処
する協力体制等だ。

火まつりの実施は

Q (宮原) 火まつり
は、どうなっている

のか。

A (町長) 開催する
予定だが、コロナ

禍ということもあり、町
民だけを対象として開催
するか未知数だ。



今年こそ見たい

教育は人に幸せをつくる 素晴らしい分野



津山教育長

直島で
育ってよかった
と思える教育

(主なもの)

- 4月8日 中学校入学式が来賓を制限して挙行され出席しました。新入生は20人でした。
- 4月11日 小学校入学式が来賓を制限して挙行され出席しました。新入生は21人でした。
- 4月12日 幼児学園入園式が来賓を制限して挙行され出席しました。入園児は26人で在籍数は87人でした。
- 4月13日 幼児学園の東園庭に恒例の鯉のぼり21本を掲揚しました。
- 4月23日 直島女文楽「麗春の舞」が開催され、鑑賞しました。
- 4月26日 4月教育委員会定例会を開催し、出席しました。
- 4月28日 小学校と中学校に、創価学会から読書用図書が今年度に150冊と今後5年間に20冊ずつが寄贈され、贈呈式に出席しました。
- 5月25日 5月教育委員会定例会を開催し、出席しました。
- 5月28日 幼小中合同運動会並びに町民体育祭が開催され、出席しました。

主な質疑

女文楽の後継者育成は

Q (西岡) 今後、女文楽の後継者をどう育てていくのか。

A (教育長) 非常に重要な課題だ。昨年、若い2人が入った。

募集形式では後継者はつけれないと思う。公演を増やすことでマスコミ等で公開され、島外の方も含めてたくさんの人に



直島女文楽「麗春の舞」

見てもらい、体験する機会が増えて関心を高められたらいいと思う。また、子どもたちに女

文楽を観る機会を増やすことで、引き継いでみたいという子どもたちが現れたらいいと思う。

直島教育への考えは

Q (小野) 新教育長としての教育に対する考えは。

A (教育長) 子どもたちが直島で育つてよかったなあと思える充実した思い出ができればと思う。保護者には直島で子育てができてよかった、直島に住みたいと思える若い人が増えることを期待できる学校づくりができればと思う。

直島に住んでよかったと思える社会教育や社会体育を実施することで、みなさんがより幸せになつていける。教育とは、多くのの人に幸せをつくっていく素晴らしい分野なので、微力ながら尽力したい。

小・中別々に寄贈か

Q (宮原) 小・中学校に創価学会から

図書が寄贈されたが、それぞれに寄贈されたのか。

A (教育長) それぞれに150冊と、今後5年間に20冊ずつ小・中に寄贈される。

成人式の名称は

Q (山下) 成人式の新たな名称を相談したと聞いたが、決まったのか。

A (教育長) 検討中だ。今年の成人式の中心となる若者たちや、教育委員にも意見を聞いた。どちらも「はたちのつどい」がよいとのことだったがそれを漢字にするか検討し、6月教育委員会で決定したい。



今年までは成人式

中学校の部活動の状況は

Q (山上) 教員の働き方改革で、地域の指導者への移行が報道されているが、直島中学校の部活の状況はどうか。

A (教育長) 直島中学校では土・日のうちどちらか1日は休日にするようになっていく。学校からは地元の指導者に助けてもらいたいとの希望があるが、なかなか指導者が見つからないのが現状だ。

国では、民間に移行するべきとの報道が出ていますが、直島では今後の課題だ。



地元の指導者を

委員会レポート

経済・民生

総務・文教

5月24・25日の両日、合同常任委員会を開催し、各課からの現状・事業等の報告を受けました。主なもののみ報告します。

中根 委員長

山上 委員長

コロナワクチン 4回目接種は

瀬戸内国際芸術祭 2022開幕

〔まちづくり観光課〕
瀬戸内国際芸術祭
2022春会期

直島への来場者数

50313人

(前回 96699人)

Q 検温済みの来島者にリストバンドを配布する対策をとったが、実施済みの割合はどれくらいだったのか。

A 多くの観光客が高松港、宇野港で検温を実施、未実施者の来島者には宮浦港や町内

Q 多くの観光客が来島者には宮浦港や町内

A 多くの観光客が来島者には宮浦港や町内

〔ふれあい診療所〕

Q 吉野・金森医師の2人が3月末で退任、池上・森田医師2人が4月1日付で就任した。看護師も2人採用した。

Q (山下) 带状疱疹ワクチンの接種状況は。

A (事務長) すごく多い。予約が83人で、接種した人は50人くらいだ。

Q (西岡) 発熱外来診察室の利用状況は。

A (西岡) 発熱外来診察室の利用状況は。

各施設で検温を行なったうえでリストバンドを配布したため、ほとんどの来島者を実施できた。

〔委員より〕
前回の瀬戸芸ではフェリー内に「こえび隊」が乗船し、船内で観光案内を行っていたが、今回はいかなかった。港での検温未実施者対策や下船の遅い観光客対策に有効と思われるので、夏会期で

Q (事務長) コロナの疑いがある時は車内で診察し、疑いの少ない人で採血とかがあれば案内している。

〔住民福祉課〕
低所得の子育て世帯に對する子育て世帯生活支援特別給付金を計上

Q (西岡) コロナワクチン4回目接種を進めているか。

A (室長) 対象者は60歳以上と18歳から59歳の基礎疾患を持つている人だ。

Q (中根) ガン検診の対象者は。

A (課長) 実施設計は終わり、もうすぐ発注できる。

Q (西岡) 横防公園のフェンスはどうなっているのか。

A (課長) 実施設計は終わり、もうすぐ発注できる。

は対策が講じられるよう実行委員会にはかつてほしい。



春会期が閉幕

〔教育委員会〕
4月から就任の津山新教育長より今後の町教育行政について、並びに園

Q (室長) 子宮ガンは20歳以上、乳ガンは30歳以上、胃ガン・肺ガンは40歳以上だ。

〔健康推進室〕
コロナワクチン接種体制確保事業と4回目接種に係るシステム改修費用を計上

Q (西岡) つり公園でタケノコメバル放流

Q (西岡) 横防公園のフェンスはどうなっているのか。

A (課長) 実施設計は終わり、もうすぐ発注できる。

Q (西岡) 横防公園のフェンスはどうなっているのか。

A (課長) 実施設計は終わり、もうすぐ発注できる。

学校等における新型コロナ対策感染症の対応・対策について報告があった。

今後の教育行政

「直島で育つてよかった、子育てしてよかった、生活できてよかった」と思える教育行政の実現。

コロナ感染状況

幼児学園2件、スポーツ少年団1件

感染対策の主なもの

給食時・お昼寝時の対

Q (室長) 子宮ガンは20歳以上、乳ガンは30歳以上、胃ガン・肺ガンは40歳以上だ。

Q (西岡) つり公園でタケノコメバル放流

Q (西岡) 横防公園のフェンスはどうなっているのか。

A (課長) 実施設計は終わり、もうすぐ発注できる。

Q (西岡) 横防公園のフェンスはどうなっているのか。

A (課長) 実施設計は終わり、もうすぐ発注できる。

策の徹底
○従来の予防の徹底と、換気の徹底
○スポーツ少年団の活動前の体調チェック
○空気感染を避ける指導の徹底

〔委員から〕

世間では、コロナの感染対策は徐々に緩和されているが、教育委員会としては子どもたちのことを一番に考え、今後も対策を継続していくという方針を聞いてよかった。

Q (室長) 子宮ガンは20歳以上、乳ガンは30歳以上、胃ガン・肺ガンは40歳以上だ。

Q (西岡) つり公園でタケノコメバル放流

Q (西岡) 横防公園のフェンスはどうなっているのか。

A (課長) 実施設計は終わり、もうすぐ発注できる。

Q (西岡) 横防公園のフェンスはどうなっているのか。

A (課長) 実施設計は終わり、もうすぐ発注できる。



痛くなる前に

Q (中根) ガン検診の対象者は。

A (課長) 実施設計は終わり、もうすぐ発注できる。

Q (西岡) 横防公園のフェンスはどうなっているのか。

6議員が登壇し、町政を問いました。
内容は質問者の責任において作成しています。



西岡 議員

新たな人口増加対策は

〔町長〕 第1期と同様の条件だ

そこで、人口増加対策のひとつとして、法律上可能であれば、事業者向けの宅地造成を考えてみてはどうか。移住者を対象に、飲食店・宿・社員寮等、さまざまな事業者向けの宅地造成をし、建設していただければ、人口増加が期待でき、税制面においてもプラスになるのではないかと。

人口減少に歯止めをかけ、個人向けの姫宮団地も売却し、第2・第3の宅地造成を実施していた

だき、人口3千人

をキープしてほしいと思う。

A

〔町長〕 町外から移住し、飲食店や宿泊業を検討されている方は、基本的に事業を興していただくうえで、宮ノ浦地区や本村地区において立地条件の良い物件を探す傾向がある。

また、このような条件を満たす大規模な造成が可能な土地はほとんどない。

現在の宅地分譲要綱では、「宅地を旅館業や飲食店など住宅以外の用途に使用できない」と規定しており、今回の宅地造成に関しても、第一期と同様の条件で事業を進める。

現段階では、人口流出を防ぐための定住対策を進めていくため、横防の町営住宅建設や第二期の宅地造成事業のほか、企業社宅等の整備を検討している事業者への費用助成など、実情にあった取り組みを着実に進めていく。

瀬戸芸中の交通対策を

コロナの行動制限もなくなり、瀬戸芸には多くの観光客が来島し、以前のにぎわいを感じる。

しかし、来島者も3年ぶりの制限なしという開放感からか、バイク・自転車・電動キックボード等が数台で並走、合図も出さず進路変更、信号無視等、マナーの悪い危険な運転をしている観光客をよく見かける。町民が事故等に巻き込まれない対策が急務だ。

悲しい事故を未然に防ぐために、警察と協議をし、何らかの対応が急がれるのではないかと。

A

〔町長〕 ごく一部の方がルールやマナー違反などを引き起こしていると考えられる。

町では、香川県が実施している「自転車マークと左側通行を、英語でKEEP」と青色の路面標示のほか、交通ルール順守の啓発チラシの配布を依頼するなどの対策を行なっている。

新たな交通対策として、外国人にも理解していただけるようなイラスト表示を前面に出した「横断歩道での歩行者優先」と「オリジナルのぼり」を作成するなどしている。

一部の利用者に危険運転も散見しているようで、これからも粘り強く啓発活動が続けていくとともに、警察によるパトロールなどの協議をし、マナーアップの向上に取り組む。

教育長就任のメモリアル事業を

〔教育長〕 教育委員会の所管ではない



松島 議員

新しい

教育長就任の記念事業を提案する。

〔事業Ⅰ〕 町内の石碑等5カ所碑文の解説板の設置。
①五方全神社

〔護王神社〕の石島（井島）紛争解決に関する石碑文 ②極楽寺門前の廬山師碑文 ③齋土の坂開削碑文 ④⑤住吉神社境内の宮本梶平翁銅像碑文と役場前の松島九三郎氏銅像碑文

これは観光客に読んでいただき直島の歴史を知ってもらいたい。

A

〔教育長〕 ご提案の5カ所はいずれも町の文化財指定を受け

ていないので教育委員会の所管事項に該当しない。設置は所有者、管理者の判断による。

A

〔町長〕 全く必要ないと思っている。

〔事業Ⅱ〕 直島中学卒業生名簿パート2の発刊
平成8年に創立50周年記念で記念誌と共に発刊後25年が経過し、第2集を出してほしい。

時間を経ると75年前の先輩たちは大方いなくなり、歴史を守る必要がある。全OBの念願と思う。

A

〔教育長〕 この件も、委員会の管理には該当しない。学校教育、社会教育の観点からも極めて関係が薄い。

Q

〔歴史を守る気持があるか〕 町長に問う。

A

〔町長〕 松島議員が町長時代に委員会を組織しやったことで、今回も松島議員が音頭を取って作れば良いと思う。町はやらない。



交通ルールを守ろう



宮原 議員

前回の目標・公約の達成度は

〔町長〕 自己評価は控える

今回の町長選挙での目標・公約は、前回の目標・公約を反省して立てたのか。

A (町長) 多くの重要な課題は一定の前進をしたのではないかとと思う。ただし、課題は残っている。

公約のとおり取り組みたい。

Q 前回の目標・公約の達成度は。

A (町長) それは、町民の皆さまにしている。よって、私からの評価は差し控えたい。

支出負担行為書兼支出命令書

町長	副町長	課長	主任	課長補佐	係	管理番号	係
新井	次郎	工藤	次長補佐	係			

月 23 日

細目	節	細目	明細	請求日	令和 4 年 5 月 18 日
0001	11	01	01	支払予定日	令和 4 年 5 月 31 日

支払区分 精算私用紙振込
控除額 0 円

記載のチェック強化

誤送金の回収対策は

山口県 A 町の誤送金問題は、全国的に広がり、多くの怒りの声があがった。

A 町は、人口や予算で当町と同じ規模だ。

A 町は、コロナ特別給付金を丁容疑者に 4630 万円を誤って振り込みをした。4 月 8 日に町

は、容疑者に誤送金の説明をした。容疑者は、了解したが、不可解な言動が見られた。容疑者は、その日から誤送金を移動

させ、ネットカジノで短期間に費消した。A 町の対応は多くの疑問が見られ、容疑者が短期間に誤送金を使い切ったことから回収が困難になった。このような局面で、当町は被害をできる

だけ少なくするために何をすべきか。

A (町長) この問題は、公金のチェック体制の重要性を強く感じた。

対応は、顧問弁護士・警察、指定金融機関、さらに議会や県の所管課に協議する。

特に事務の適正化、そして対応は迅速にすることだ。役場全員が、肝に銘じてミスをなくする努力が必要だ。

Q 大阪府 S 市では、住民税の還付金で返還金額を 1 桁誤り、多額の還付ミスをした。これは、どこの市町村でも起きる可能性がある。万が一、このようなことが起きた時の対策を検討しているか。

A (町長) チェック体制の強化あるのみだ。

(宮原) 誤送金の被害を少なくするための早期解決には、専決処分て民事保全法による仮差押えを視野にすべきと考える。

歩きたばこに歯止めを

〔町長〕 環境パトロール等を実施



山下 議員

町内の道路で歩きたばこや火が点いたままのポイ捨てを何度か見かけた。以前から、町民や宇野通勤者にも同様な行動を見かける。

たばこのポイ捨ては、火災を引き起こす大変危険な行為だ。

視界から訴えるよう歩道に『歩きたばこ禁止』マークを塗装したり、目につきやすい場所に標識を設置してはどうか。

(町長)

たばこのポイ捨ては、火災を引き起こす大変危険な行為だ。町ではタバコト放送での注意喚起、毎年一部の喫煙者のマナーが悪いために起こるものだ。今後、環境パトロール等を実施するとともに、視覚的に注意喚起することも選択肢のひとつなので、他の自治体等の事例を調査し、当町に合う方法の情報収集を行なっていきたい。

たばこのポイ捨ては、一部の喫煙者のマナーが悪いために起こるものだ。今後、環境パトロール等を実施するとともに、視覚的に注意喚起することも選択肢のひとつなので、他の自治体等の事例を調査し、当町に合う方法の情報収集を行なっていきたい。



たばこのポイ捨て



山上 議員

町主体の防災訓練の実施を

〔町長〕自治会と協力体制のもと実施したい

南海トラフを震源としたマグニチュード8から9クラスの大規模地震は平成31年1月1日現在、今後30年のうちに70%か

ら80%の確率で発生するといわれている。そのリスクは年々高まっており、自治体として来るべく災害に柔軟に対応できる体制を構築することが重要だ。

町が主体となる災害訓練は、平成18年から平成23年までの間は毎年実施してきたが、それ以来実施できていない。

自主防災組織として自治会での個別の訓練は難しいため、コロナ後において町が主体となつて、自治会としての役割の再認識を図るため、町全体の防災訓練の実施が必要であると考えて、町長の考えを伺う。

A (町長) 平成23年を最後に町が主体となる災害訓練は実施していない。代わりに平成30年度から町自主防災活性化事業補助金制度により、自治会単位での各種防災訓練の実施や防災啓発活動に必要な経費を補助している。

現在、平成23年以前の

ような、町民グラウンドに集合しての総合防災訓練は計画していないが、津波警報発令に対する高台への避難訓練、避難所開設時の設営・運営訓練等、自治会単位や地区単位での役割や動線の確認が必要であるなど地域の防災力の向上のため、町と自治会との協力体制のもとで防災訓練が実施できればと考えている。

停電対策の充実を

5月7日に発生した町内全域の大規模停電は4時間で復旧したが、改めて電気の大切さを実感した。震災発生後においては、大規模な停電が長時



知ろう！ 備えよう！ 防災対策

間起こり、離島である本町では早期の復旧が見込まれないと想定したうえでの対策が必須であり、避難所並びにそれぞれの家庭において電源の確保が大事だ。現在、町において災害用として6台の発電機を所有しているが、避難所において、それらを活用することとなると思うが、実際その数では不足している。

また、住民の多くが自宅で避難生活を送ることとなり、東日本大震災で被災した自治体の教訓では電気がなくて一番困つたという意見が多く、停電が復旧するまでの間、各自が小型の蓄電器などを用意しておくなどの対策が必要であるといわれている。町としての今後の対策について伺う。

A (町長) 最新の被害想定では、町内の停電件数はわずかとなっているが、停電の備えとして太陽光発電システムに併設する蓄電システム設置に対する補助事

業を実施している。現在、町内13カ所の避難所では、太陽光発電設備、自家発電設備、発電用電源の切り替え等により電力供給可能な施設は6施設である。その他の施設はポータブルの発電機等に対応する予定としているが、避難所での電源確保は、今後とも調査研究を行ない検討していきたい。

住宅の耐震促進並びに液状化対策は

令和4年3月に改定した直島町耐震促進計画(第3次計画)では住宅

の耐震化率を令和3年度の65%から令和7年度には91%となるよう目標を定めている。これを達成することはなかなか難しい問題だが、今後の目標達成に向けての具体的な取り組み、また、埋立地区にある住宅については液状化による倒壊も想定されており、これについて行政として何らかの対

策が

策ができるのかを併せて伺う。

A (町長) 今後の目標達成に向けた取り組みとして香川県と連携し「住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」を策定し、耐震化の必要性について町広報紙等で普及啓発していく予定だ。

なお、昨年度直接的に耐震化を促す取り組みとして担当課と建築士が連携し、20戸程度の訪問を予定していたがコロナにより実施できなかったため、コロナ後には実施していきたい。

また、住宅の液状化対策については、国の被災者生活再建支援制度等を活用し、原則、所有者などの責任により行なうこととされている。

しかし南海トラフ地震の発生確率が高まる中、今後、宅地の液状化箇所の調査やハザードマップの作成について検討していく。

今年春から瀬戸芸が開催され多くの観光客が来島している。そんな中、町内公衆トイレは本村地区には本村港、アーカイ

公衆トイレの増設と清掃の充実を

〔町長〕 快適に利用できるよう努めていく



中根 議員



明るく清潔なトイレに

ブ役場、直島ホール、南寺公園などにあるが、宮ノ浦地区には少なく、新たに設置してはどうかと考える。設置が難しい場合は観光客にもわかりやすいように、今あるトイレの場所を示す案内板などを設置してはどうか。また、今ある海の駅のトイレは、利用者に対して少ないと思う。その上、清掃が行き届いていないのか、臭いもきつく壁も床もすいぶん汚れている。

直島の玄関である海の駅のトイレがあの状態ではとても恥ずかしい。明るく清潔感のあるトイレにすべきと考える。

（町長） 町内の公衆トイレの設置状況だが、港などの公共施設には、それぞれ設置している。指摘の宮ノ浦地区においても、公共施設に付随するトイレ整備はある程度進んでいると認識している。

このため、新たなトイレの設置となると、ひっ迫している宮ノ浦地区内の土地状況から、設置場所の選定は極めて困難である。現在2カ所に設置している観光案内板やエリアマップには、距離は表示していないがトイレマークは表示している。

今後、夏会期及び秋会期において、観光客の増加が見込まれるので、瀬戸芸実行委員会とも協議し、トイレの看板の必要性や案内方法を検討していく。海の駅のトイレは、広さや衛生面で利用者には不満や不快な思いをさせてしまい、大変申し訳なく思っている。広さについては、限られたスペースで設置しているので、直ちに拡張することは困難だ。しかし、臭いや汚れなど衛生面については、清掃は業者に委託しており、その方法や清掃頻度等を検証し改善に努めていく。解決方法を模索し、利用者に快適に利用いただけるよう努めていく。

Q 海の駅から直島パヴィリオンまでの空き地に新たにトイレを設置してはどうか。

A （町長） その場所は荷揚げ場となっているので、漁協と協議が必要だ。できるできないは別にして、考えていく。

人事

委員さんよろしく

大林 清氏を再任



大林 清氏

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員として、大林清氏の任命に全員賛成で同意しました。

なお、任期は令和4年7月1日からの3年間

工事請負契約

（仮称）積浦公園整備工事

契約方法 指名競争入札
契約金額 8250万円
契約相手方 石井建設(株)
工期 町指定日から令和4年10月31日

直島中学校縦穴区画改修（第2期）工事

契約方法 指名競争入札
契約金額 4950万円
契約相手方 (株)まつもとコーポレーション
工期 町指定日から令和4年9月30日

令和4年度

予算補正

子育て世帯に給付金

（接種）
104万円追加

一般会計

特別会計

各種事業等補助

宅地造成事業

● 子育て世帯生活支援特別給付金（低所得子育て世帯でひとり5万円）
90万円追加

● 積浦地区宅地造成事業測量設計等業務
1000万円追加

● 事務事業
● 新型コロナウイルス接種管理システム対応
（4回目コロナワクチン追加）

● 土地購入費
1721万円追加

● 成区画数は、
（山上）新しい造

● 成区画数は、
（町長）8区画の予定だ。

までのあゆみ

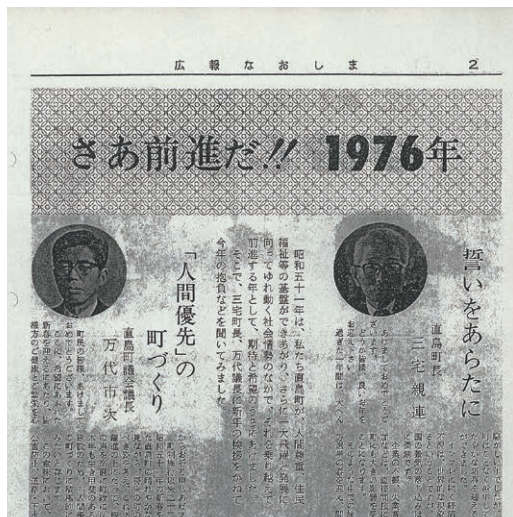
No.41
昭和53年7月



手前が旧役場庁舎
奥が完成間近の新庁舎

期満に建設進む新庁舎と
11月上旬に家を消す現庁舎 (左上は建設部分)

No.1
昭和51年1月



記念すべき議会だより創刊号は
直島広報中でした

広報 なおしま 2

さあ前進だ!! 1976年

「人間優先」の
町づくり

町づくり
万代市長

汗いをあらたに
直島町長

二を視連
直島町長

No.54
昭和60年10月



悲願だった海底導水管が
開通しました

一念叶った 命の水

No.9
昭和51年10月



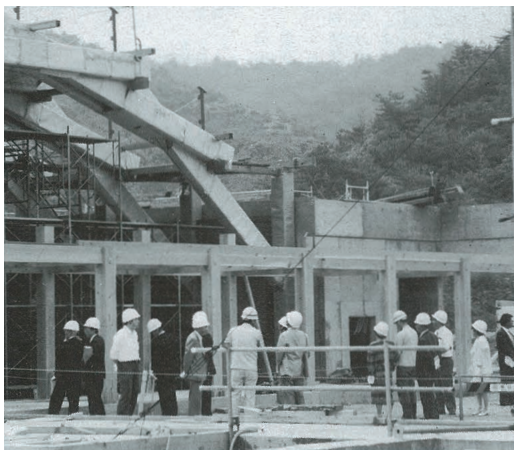
ほぼ完成した町民体育館・武道館

議会だより

議会だより

期成間近の町民体育館・武道館

No.89
平成6年11月



完成予定の総合福祉センター

総合福祉センター建設現場を視察

No.20
昭和53年10月



建設が進む中学校新校舎

議会だより

議会だより

着々と工事の進む中学校新校舎

議会だより 200号

No.123
平成15年4月



特別養護老人ホーム
レファシード直島完成間近

完成間近の特別養護老人ホーム(レファシード直島)平成15年3月21日撮影

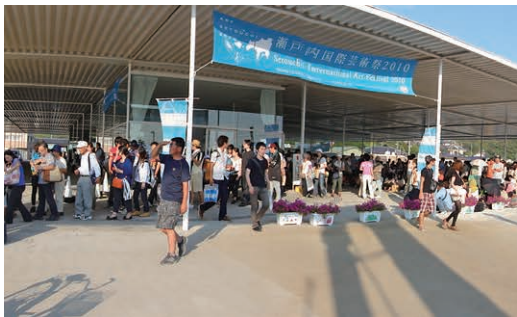
No.107
平成11年4月



下水道浄化センターが完成

下水道浄化センター

No.153
平成22年10月



受入体制を考えなければ(乗船に並ぶ観光客)

第1回瀬戸内国際芸術祭が
スタート

No.111
平成12年4月



豊島産廃処理を全員賛成で可決

No.171
平成27年4月



急ピッチで工事が進む町民会館

急ピッチで進む直島ホール建設

No.115
平成13年4月



町民期待の診療所がオープン間近

オープン間近の新ふれあい診療所にはモジュールが多用されています

挑戦してみませんか

直島つじ太鼓 海童組



海童組メンバー



堀口舞さん、中根瞬さん

今回のがんばりよるでは、2回目登場の直島つじ太鼓の皆さんです。1回目は平成18年4月でした。

Q 結成して何年になりますか。

A (瞬) 平成2年にできたので、もう32年になります。海童組は平成4年です。

Q 太鼓を指導して楽しくなったこと、逆に苦しかったことは。

A (舞) 子どもたちの成長が何より楽しみます。小さな子どもたちもどんな楽譜を覚えて、力強く太鼓を打つ姿に感動します。みんな仲も良くほえます。

(瞬) 子どもたちの覚え

るスピードが速く、毎回レベルアップしていくところですね。新しい曲を渡した時、みんながワクワクしている時が大好きです。

(瞬) 曲作りがしんどいんです。できる時はスラッラできるのですが、できない時は何日もワンフリーズもできません。

Q 子どもたちに聞かれます。太鼓を打っていて楽しいことはありますか。

A (岡崎太一) 演奏終わりの拍手をいただいた時に達成感でいっぱいになります。

(丹場彩斗) まちがえず演奏できた時です。

(中根六花) じょうずにできた時です。



直島ホール落成式

Q 海童組に入れる年齢制限などありますか。

A (舞) 小学校入学くらいから大丈夫です。

Q いろいろなイベントで演奏されていますが、どのイベントが好きですか。

A (舞) 火まつりです。たくさんの方のイベントに出させていただけますが、火まつりへの情熱はやはり大きいです。

(岡崎太一) 火まつりです。お客さんも多いし、新曲を披露できるからです。

(原口七瑠) 火まつりです。盛り上がるからです。

(堀口雷) 火まつりです。たくさんの方の友達が見られるからです。

Q メンバー募集のメッセージなどありましたらどうぞ。

A (舞) できるかなと不安になる前に、まずは挑戦してみませんか？興味がある方は、ぜひ体験に来て太鼓に触れてみて



火まつりが1番好き

ください。

Q 最後に町民の皆さんにメッセージをお願いします。

A (舞) いつも、つじ太鼓に温かい応援をありがとうございます。直島を盛り上げるために、これからも良い演奏ができるよう精進していきますので、よろしくお願いします。

(瞬) 和太鼓は子どもから大人まで誰でも楽しめるツールです。ぜひ一度来て見て触って体験してみてください。

本日はありがとうございました。これから島のイベントをどんどん盛り上げてください。期待しています。

編集後記

ロシアによる一方的なウクライナ侵攻は長期戦になってきている。民間人が避難している学校や教会などを無差別に攻撃している。明らかに国際法を無視した戦争犯罪だ。ロシア・中国が常任理事国である国連は全く機能していない。今や飛行距離70〜500キロのミサイルやロケット砲による攻撃が主流でどこにでもピンポイントで撃ち込める。北からロシア、南から中国、そして西からは北朝鮮が共謀して侵攻してきたら、日本は逃げる場所がない。日米安保条約は、米国が日本に代わって戦ってくれるものではない。明日は我が身だと自覚する必要がある。(浜口 記)

広報編集特別委員会

- 議長 井下 良雄
 委員長 山下 玲子
 副委員長 浜口 敏夫
 委員 山上 英一
 西岡裕喜広
 中根 清孝
 宮原 三郎
 小野 孝一